



平和新聞 東京版

2022年7月15日 東京版第118号

1950年12月16日 第三種郵便物認可 (日本平和委員会)

東京版発行 東京平和委員会

〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階

電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487

E-mail tokyoheiwaiinkai@peace-21.jp



横田基地CV-22オスプレイ2機が入替え

6月2日、横田基地配備のオスプレイ3機が横浜ノースドックに着陸。翼をたたんで、米国籍船・貨物船「SLNCYORK」に積み込まれ、那覇軍港へ向かい、さらにMV-22オスプレイ3機を積み込んで、米本土に向け出港しました。大規模整備のためと思われ

積み込まれた機体は、「13-0067、0069、14-0074」の3機で、入替で配備された機体は、「08-0051・12-0066」で、0051はイギリス・ミルデンホール基地から、0066はフロリダ州ハールバート・フィールド基地から横田基地の部隊に配備されました。

2機は6月9日に横浜ノースドックを飛び立ち、11・40、12・17に横田基地に飛来しています。CV-22は53機が製造され、3機程度が事故で失われています。現在、CV-22を運用する横田基地第21特殊作戦飛行隊を含め、イギリスに1個、米本土に3個の計5個飛行隊で、それぞれ10機編成となっています。今回のオス

プレイもオーバーホールや近代改修を含めた整備をしたうえで、他の飛行隊に交代機として配備される可能性が高いようです。2024年までの横田基地への10機体制に向けては、今回本土へ運んだ機体の整備が終われば、そのまま横田基地に戻ってくる可能性もあり、10機編成化を急ぐ場合は、整備を終えた他の飛行隊で使用していた機体を横田へ配備する可能性も出てきています。

現在、009-0046、13-0071、14-0075が確認されて、今回と合わせ機体数は5機となっています。新しく配備されたCV-22オスプレイには、機体後方上部にHFアンテナ（線がはつてある）が付けられています。

横田基地に危機対応チームを整備

米軍の契約情報によると、第374空輸航空団（374AW）の司令部が入っている建物に、同航空団の危機対応チーム（crisis action team=CAT）のため、大型スクリーンやディスプレイなどの整備を計画していることが分かりました。CATは司令部が戦時の

作戦・緊急事態・自然災害・演習その他の状況下で、権限・編成・手順について、司令部の判断を常時または代わって行うチームです。横田基地が、米空軍を迅速に前線投入する「迅速機敏戦闘展開（ACE）」構想に基づいて、燃料や資材、支援部隊を運ぶ重要な拠点として対応すべく、374AWの即応能力を強化する一環です。



米軍がPFAS基準を厳格化 東京都は血中濃度検査を

米環境保護局（EPA）が6月15日、飲料水中の有機フッ素化合物PFASの生涯健康勧告値を大幅に引

き下げたことが、マスコミ報道でわかりました。いままではPFASの一種のPFOAとPFOSの合計値で1リットルあたり70ナノグラムでしたが、PFOAは0.04ナノグラム、PFOSは0.02ナノグラムとなり、合算で約3000倍の厳しさとなります。日本はEPAの従来の勧告値を参考に暫定指針値・目標値（50ナノグラム）を定めています。沖縄県では、米軍基地からのPFASを含む泡消火剤の漏出事故が立て続けに発生し、従来の水質汚染は新しい勧告値を大幅に上回っています。東京でも、横田基地周辺の多摩地域で有機フッ素化合物（PFAS）に汚染された水道水・井戸水が東京都の調べで明らかになりました。東京都は2020年2月～3月に、国の暫定目標値を超えた浄水所は、井戸水源の一部又は全部を停止したので現在は下回っているとしています。しかし、米国の新勧告基準に照らし合わせると、沖縄同様に基準値を大幅に上回っています。高濃度に汚染された水道水を長年飲んできた横田基

地周辺多摩地域住民の健康は大丈夫なんでしょうか？住民の健康状態を知ろう。P F A Sの血中濃度調査が必要です。

多摩地域の数多くの自治体の住民の方々に参加していただき、自主的な血液検査で汚染の実態を明らかにすることを呼びかける「多摩地域の有機フッ素化合物(P F A S)汚染を明らかにする会(準備会)」の立ち上げが準備され、賛同者を募っています。

氏名・住所・メールアドレスを「準備会」に登録してください。

送信先: y-negiyama@nif.ty.com

「多摩地域の有機フッ素化合物(P F A S)汚染を明らかにする会」発足のついで

日時: 8月7日(日)午後2時〜4時

会場: 国分寺労政会館 第5会議室

資料代 500円

オンライン記念講演「有機フッ素化合物(P F A S)汚染と血液検査」

講師: 原田浩二さん(京都大学大学院医学研究科准教授)

第3次新横田基地公害訴訟 1282名が提訴

過去3度繰り返された横田基地公害訴訟では、75 W E C P N L (W値・うるささ指数)以上の地域の損害賠償は認められましたが、夜間〜早朝の飛行差し止めは認められませんでした。横田基地周辺は依然として騒音被害の解消に至っていません。この間に新たに配備されたオスプレイの轟音は、被害を一層深刻化しています。

家族団らん時間から深夜早朝までの飛行差し止めとともに、オスプレイの飛行制限、将来にわたる損害賠償を中心課題とし、横田基地周辺を静かで安全な生活環境にするため、基地周辺の住民が第3次新横田基地公害訴訟に立ち上がりました。

第3次新横田基地公害訴訟原告1282名は、6月20日に東京地方裁判所立川支部に提訴しました。原告は「昭島415名、八王子542名、福生128名、瑞穂125名、日野56名、立川9名、入間6名、羽村1名」で組織され、(1)C V 122オスプレイの飛行差し

止め(昼間・夜間)。(2)午後7時から翌日午前7時までの間の米軍機・自衛隊機の飛行差し止め。(3)月額2万2000円の損害賠償。過去分(提訴3年前から提訴まで)・将来分(提訴翌日から騒音が無くなるまでの間)を請求しています。第2陣以降の提訴も予定し、原告募集も継続しています。

訴訟団ホームページ: https://3rd.yokota-kougai.com/



文京平和委員会

文京平和委員会が文京区議会に提出した「日米地位協定改定の改定を求める請願」不採択に

区議会総務委員会で6月17日に審議、不採択に。総務委員会: 9名で構成(委員長: 自民)

賛成: 共産1、市民の広場1、創1、(*立憲1) 反対: 自民2、公明2 *立憲は欠席したが賛成1は確実。

賛否同数となるが、委員長採決で不採択に。

賛成理由: 沖縄が焦点となるも、東京でも他所事でない(共産)。コロナ禍の因果関係が在日米軍にあることは問題(市民の広場)。他国では協定見直しが進むも、日本は遅れている(創)

反対理由: 請願の趣旨は理想的だが、見直しは容易でない(自民)。沖縄の被害は認めるが、政府も努力してきている(公明)。

不採択側は協定の問題点は否定できず、政権に付度した物言いであることが印象的です。

報告: 川田正美

目黒平和委員会

女性差別撤廃条約選択議定書批准を求める意見書を目黒区議会にて採択

6月30日の目黒区議会本会議で意見書が採択されました。これを見守った「めぐろジェンダー平等の会」

共同代表の中島みち子さん(平和新聞読者)に聞きました。

この条約が国連で採択された1979年に、目黒女性団体連絡会が発足し、中島さんは長くこの会で活動し、「めぐろジェンダー平等の会」を立ち上げました。選択議定書の批准が進まない状況に、学習会はもとより、この採択に向けた思いをメンバー皆で文章化するなど、自分事化(私の物語)の取り組みをし、議員さんとの懇談の機会に備えるなど、互いの立ち位置を共有し合いながら、課題を深め合い、関係性を大切に

し、取り組んできました。5月に開催したキックオフ集会「OPACTION東京」をきっかけに、今回の採択に結び付けました。意見書の採択は全国では158番目、23区では5番目の採択です。「めぐろジェンダー平等の会」は、大きな成果に今後の活動の更なる活力になると喜ぶ合うとともに、人権を謳う憲法をもっと活かして、国際基準のジェンダー平等を訴えています。

2022年平和展・戦争展

- 都内各地で開かれる平和展・戦争展のあらまし紹介です
8月1日(月)10時〜4日(木)15時 江東平和のため
8月7日(日)〜9日(火) 文京平和のための戦争展・会場: 文京シビックセンター1階展示室
8月12日(金)10時〜14日(日) 品川平和のための戦争展・会場: 品川区民ギヤラリー
8月13日(土)〜15日(月) 平和のための荒川戦争展・会場: 町屋文化センター
8月13日(土)12時〜14日(日)16時 平和を願う中央区民の戦争展・会場: 中央区月島会館
8月20日(土)12時〜21日(日)16時 第27回平和のための北区の戦争展・会場: 北とびあ地下展示ホール
8月26日(金)18時 新宿平和のための戦争展・会場: 区立牛込笹荷区民ホール
9月17日(土)〜19日(月) 練馬平和のための戦争展・会場: ココネリ・イベントホール
10月1日(土)〜2日(日) 第22回戦争展 in 江戸川・会場: タウンホール船堀